



THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO KITA

c/o TOKYO YMCA 2-2-20 TOYO KOTO-KU TOKYO 135-0016, JAPAN Tel.03-3615-5562
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS, CHARTERED 1980



2023年 2月 No 489

ウルリック・ラウリトセン (デンマーク) 国際会長主題: 'Let Your Light Shine' 「輝かそう、あなたの光を」
ティン・ミン・チェン (台湾) アジア太平洋地域会長主題: 「新しい時代とともに、エレガントに変化を」
佐藤重良 (甲府 21) 東日本区理事主題: 「未来に向けて今すぐ行動しよう」

工藤大丈 (東京ベイサイド) 関東東部部長主題: 「新規技術を縦横に駆使し、効率を重んじる」

磯部成文 東京北クラブ会長主題: 「“明るく・楽しく・朗らかに“ 40年を語ろう！」

会長: 磯部成文 副会長: 村杉一榮 書記: 小仁恵子 会計: 磯部幸子 担当主事: 熊沢佳代

コリントの信徒への手紙 -13章4節~7節

村杉一榮 選

愛は忍耐強い。愛は情け深い。ねたまない。愛は自慢せず、高ぶらない。礼を失せず、自分の利益を求めず、いらだたず、恨みを抱かない。不義を喜ばず、真実を喜ぶ。すべてを忍び、すべてを信じ、すべてを望み、すべてに耐える。

今月の聖句

第604回 2月例会プログラム

日時: 2023年2月15日(水) 14:00~16:00

場所: 日本基督教団浅草教会

内容: 北ワイズの今後について

・ハッピーバースデー

2/19 羽田真治 2/24 磯部幸子



その後、東京に戻ることにになり、北クラブへの再入会を伝えた際も、メンバーの皆さんが、快く受け入れてくれたことが、とてもうれしかったこともよく覚えている。ワイズ大会にも参加したり、色々な活動を通してそれぞれにたくさんの思い出があるので、閉じてしまうのが本当に悲しいです。

神谷邦子: 主人が抱井五郎さん達に勧められたのがきっかけでワイズのメンバーになった。初めてチャーターナイトに出たときに40名くらいが集まっていた人の多さに驚いた。主人が会長の年に、メネット会の会長にもなったが、人前で話をするなど慣れないこともしなければならず自分でも驚くこともたくさんあった。普段はお店を休むことも出来ず、家族で出かけることもなかったが、ワイズの日本区大会の時には年に一度、必ず参加し日本各地色々な所へ行くことも出来た。北ワイズメンバーとは家族ぐるみで行動を共にすることが多く、クリスマス例会などメンバー家族と共に楽しい時間を沢山過ごすことが出来た。村杉克己さんが色々な所に連れ出してくれたことで、知り合いも増えて広がりも感じられた。はじめは主人に付いていく程度の関りだったが、徐々にメネット会での活動にも力を注ぐようになった。いかにファンを集められるか、皆で工夫を凝らして活動を行った。その成果として何度もメネット賞を取るほどとなり、時にはメンを超える勢いで多くのファンを集められるほど活発に活動を行った。その活動の一つとして、YMCA コンサート「すごい仲間たち」の折には、マドレーヌを統一したレシピでそれぞれの家庭で手作りして配り喜ばれた。その時のレシピが最近見つかった。東陽町でのクリスマスオープンハウスでもメネットだけで出店して、こういった品々を販売していた。

第603回 1月例会報告

熊沢佳代

2023年1月18日(水)

午後2時より浅草教会にて、1月例会を開催いたしました。

テーマは「北ワイズの40年を語ろう」ということで、北ワイズと関わり始めたきっかけや、これまでの思い出深いことなど、尽きぬ話をしていきました。



小仁恵子: 千葉ワイズメンズクラブとの関りが最初で、そのまま千葉に永住するつもりでいたが、東京へ引っ越すことになり、その時に東京北ワイズの村杉克己さんを頼ってみるとよいと紹介されて来たのがきっかけだった。そのころから村杉克己さんの存在は広く認知されていて、快く迎えてくださったことをよく覚えている。千葉ワイズのメンバーは会社員の方が多くいましたが、北ワイズには土地柄もあって、色々な業種の方が多くいて、千葉ワイズとはまた違うタイプの経験もさせてもらったのも印象深い。また、メネット会についてもパワフルで、そこから受ける影響も大きかった。途中、宝塚に移り住むことになり、広義会員で登録を続けることも考えたが、中途半端な関わり方になるのもよくないと思い、一度退会していた時期もあった。

1月在籍者		1月出席者		出席率	B F等ポイント	ニコニコボックス
会 員	7名	会 員	4名	0%	月分	1月分
広義会員	4名	広義会員	名	メイクアップ	切手 0g	
		メネット		名	現金 0円	0円
		ビジター		月修正出席率	本年度累計	本年度累計
合 計	11名	ゲスト	名	%	切手 0g	38,000円
		合 計	4名		現金 0円	

ここでもたくさんの売り上げがあり、大変ながらもやりがいがあり本当に楽しかった。北クラブが第4回東日本区大会をホストすることになり、世話役の主人が途中でなくなる不幸があったが、赤坂のホテルニューオータニで開催できたときにはとても嬉しかった。北クラブを通して、家族ぐるみで付き合える仲間が増え、仲間の支えや励ましもあったので、一人になってもここまで続けてこられたと思っている。北クラブを通して、多くの仲間と共に、たくさんの思い出が出来たことが何よりの宝である。

村杉一榮：北ワイズではメネット会も含め、これまでにたくさんのファンを生み出してきた。その為にみんなで知恵を出し合ってお菓子を作ったり、売れそうなおやつなどを安く仕入れては売ってみたい…。苦労も多かったがみんなで集まって色々なことに挑戦できて、楽しい思い出がたくさんできた。そのファンを活用して、北ワイズではこれまでたくさんのオリジナルグッズを作っていた。思い出の品として、家にはまだまだたくさん残っているが、ほんの少し持参した。(以下写真参照) まだ持っている方いるかしら？



こうして40年も続けてきたが、今となればあつという間の出来事。昔は世の中的にも一人で楽しめることが少なかったこともあり、こういった活動に入ってくれる方も多かったです。浅草という土地柄からも、人が集まりやすかったこともあると思う。今は一人でも楽しめることや何かに貢献できることも多くあるから、人との関わり方が変わってきているように感じている。北ワイズを閉会するのは寂しいが、メンバーとの関わりはこれからも大切にしていきたい。

***** 第3回東西日本区大会報告 *****

小仁 恵子

東西日本区交流会へ行ってきました！
第3回東西日本区交流会が5年ぶりに神戸の地で「語ろうワイズの未来！共に手をとり次の100年へ」をテーマに東西合わせて約430名が交流のひとときを持ちました。ロビーでは笑顔と弾んだ声が聞こえ、再会を喜びあう姿があちこちでみられました。
世界的に活動する奉仕団体との初めての試み、ライオンズクラブ、ロータリークラブ、国際キワニスとワイズメンズクラブのパネルディスカッションが行われました。
100周年を記念して、ワイズメンから募集した世界の料理“イーックブック”、新しいY'sの歌を募集した“ソングブック”の作成と紹介、そしてマカティYMCA(フィリピン)ソーラーパネル設置事業の報告がありました。京都パレスクラブが中心になってラオスにYMCA国際ホテル専門学校設立を、そして「ラオスにYMCAを！有志の会」発足式のアピールがありました。そしておもてなしのこもった懇親会ディナーを楽しみました。
翌日は分科会、Y's×SDG s ユースアクション2022の発表、DBCクラブの締結式と・・・心に残る盛会でおわりました。交流会の詳細と写真は次号に掲載します。



***** 興望館だより *****

萱村 竜馬

2月11日、興望館ピアノ教室はすみだトリフォニー小ホールで発表会を開催し、小学3年生から成人まで52名が出演しました。準備段階から当日まで生徒にも講師にもハプニングが起きますが、そこに興望館らしいドラマが生まれました。一人ひとりがピアノを通して自らに向き合う、その孤独な努力を家族が支えました。演奏技術のみならず人としての成長に大切なことが興望館ピアノ教室には詰まっています。

今回、最後の発表会になる大学4年生や高校3年生の親御さんが演奏後に親子で挨拶に来てくれました。一つの卒業の時、お互いに感謝を伝え合いました。

YyYyyYyYyYy YMCA ニュース YyYyyYyYyYy

- ① 12月初旬から呼びかけていた「東京YMCAクリスマス募金」は177の個人・団体から合計2,341,000円が寄せられている。国際協力募金、ウクライナ募金、障がい児プログラム支援、フレンドシップファンドのために用いる。
- ② 2023年度より品川区北品川(御殿山トラストタワー内)に、「東京YMCAウエルネスガーデン品川御殿山」を新規オープンし、主に幼児から高校生を対象とした水泳クラスを開設する。
- ③ パートナーシップ関係にあり長年支援を続けているバングラデシュYMCAの活動を視察するため、2月19日～26日に5名の職員が現地を訪問する。エディルプールYMCAとビリシリYMCAのNFPE(働く子どもたちの学校)を見学する他、ユースの交流等を予定している。
- ④ 「第17回子育て講演会」テーマは「いまどきの子育てで大切なこと～幸せ子育てのコツ～」と題して、玉川大学教育学部教の大豆生田啓友氏を講師として招き、1月28日オンラインで行われた。参加者からは共感できる内容充実していたと、盛況のうちに終了。300名を超える申し込みがあった。

【感謝】

- ・1月7日開催の「在京ワイズ合同新年会」(ウクライナ支援チャリティーコンサート)の席上献金より、東京YMCAウクライナ募金として92,170円をいただいた。

【今後の予定】

- ・「ピンクシャツデー」(いじめのない世界を目指すキャンペーン) 2月22日
- ・「第32回チャリティーゴルフ大会」 4月13日
会場：PGM総成ゴルフクラブ